

特別企画

福岡市総合図書館映像ホール
Fukuoka City Public Library Movie Hall

シネラ

Ciné-là

シーサイドももちフィルムフェスティバル
「特撮ワールド」

シネラでゴジラ

シネラ・ニュース
August.2001 No.61

イラスト:山下良平

特集

アジアの子供たち

特別企画

アジアフォーカス・福岡映画祭2001

イベント

8

アジアの子供たち

会 期：15日(水)～25日(土)
※休館日・休映日を除く
観覧料：500円(大人)
400円(大学生・高校生)
300円(中学生・小学生)
※定員制・各回入替制
※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。
※福岡市在住の障害者の方は無料。福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の提示が必要です。)

今回はアジア各国の子供たちを主人公にした映画の特集です。そこには様々な文化や社会状況が描かれています。戦争をする大人たちとは関係なく友情を結ぶ二人の少女を描く「サロージャー」、嫌われ者の養父にさてもやさしい眼をむける少女を描く「河は流れる」、そして心の眼で父親に語りかける少年を描く「カラー・オブ・パラダイス」。子供たちの瞳は真っ直ぐで光り輝いています。この瞳に我々大人たちはどれだけ答えているのでしょうか。国は違っても子供たちが大人に問いかけることは同じように思われます。映画を見ながら、自分が子供だった頃を振り返ってみるのもよいでしょう。きっと自分自身の輝く瞳に出会えることと思います。

子供たちの
輝く瞳

My Sky, My Home

青空がぼくの家



日本語字幕付き

監督：スラムメット・ラハルジョ・ジャロット
出演：バンユ・ビル
15[水] 11:00
24[金] 19:00
1989年/35ミリ/カラー/105分/インドネシア

ジャカルタのスラム街に住む少年ゲンボルトと、金持ちの息子のアンドリ。二人は偶然知り合いとなり、友達としてつきあい始める。二人の少年の交流を通じてジャカルタの抱える社会問題が浮かび上がる作品。

Tropical Fish

熱帯魚



日本語・英語字幕付き

監督：チェン・ユーシュン
出演：ウェイ・イン
15[水] 15:00
25[土] 11:00
1995年/35ミリ/カラー/109分/台湾

中学3年生のツーチャンは、誘拐されようとする男の子を救おうとして自分も捕まってしまう。二人組の誘拐犯はツーチャン達を田舎に連れて行くが…。受験競争に巻き込まれる子供達を描く、コメディ映画。

And the River Flows

河は流れる



日本語・英語字幕付き

監督：ジャヌ・ボルア
出演：ピシュヌ・カルゴリア
16[木] 11:00
22[水] 19:00
1999年/35ミリ/カラー/90分/インド

インド北東部アッサム地方の村。両親のいない少女のボキは、高利貸のコカとアイタの老夫婦に預けられる。コカは村の嫌われ者で、ボキの事も始めは邪魔者扱いするのだった。老夫婦とボキの、やさしく心温まる交流の物語。

Saroja

サロージャー



日本語・英語字幕付き

監督：ソーマラトウネ・ディサーナーヤカ
出演：ジャーナカ・クンプカゲー
16[木] 15:00
19[日] 11:00
1999年/35ミリ/カラー/125分/スリランカ

内戦で負傷したタミル人のスンダラムは、娘のサロージャーと共にジャングルに逃げ込む。サロージャーは森でシンハラ人の少女のワニーに出会い、親たちの知らぬ間に次第に仲良くなっていく。スリランカの状態を痛烈に告発した感動作。

Sweet Agony

としごろ



日本語・英語字幕付き

監督：アリ＝レザ・ダウドネジャード
出演：レザ・ダウドネジャード
17[金] 11:00
23[木] 19:00
1999年/35ミリ/カラー/88分/イラン

レザはもうすぐ18才、幼なじみのモナは幼い頃からの許嫁だった。レザはすぐにでも結婚したいのだが、親たちは二人が若すぎるとなかなか許してくれない。レザの語る物語が「シネマ・イン・シネマ」として描かれるイラン映画の傑作。

Whispers

ささやき



日本語・英語字幕付き

監督：バルビズ・シャーバズイ
出演：アリ・セイフ
17[金] 15:00
25[土] 15:00
2000年/35ミリ/カラー/80分/イラン

テヘランの街角でレモネードを売る、三人兄妹のストリートチルドレンの物語。兄は街角で出会う大人にこっそり何かお願いをしている。それは5才の弟に割礼を受けさせるために、病院に付き添ってほしいというものだった。

A School Excursion to Seoul

修学旅行



日本語字幕付き

監督：ユ・ヒョンモク
出演：ク・ボンソ
18[土] 11:00
24[金] 14:00
1969年/35ミリ/カラー/102分/韓国

まだ車さえない小さな貧しい島に赴任した若い教師が、子供達に外の世界を見せようとソウルへの修学旅行を計画する。子供達が都会で感じるカルチャーショックや発見が生き生きと描かれている。

Color of Paradise

カラー・オブ・パラダイス



日本語・英語字幕付き

監督：マジド・マジディ
出演：ホセイ・マージョーブ
18[土] 15:00
22[水] 14:00
1999年/35ミリ/カラー/90分/イラン

テヘランの盲学校で学ぶ8才の少年モハマドは、父に連れられて故郷の村に帰る。父はモハマドの手に職を付けさせようと、モハマドを住み込みの仕事に出そうとする。「運動靴と赤い金魚」のマジディ監督作品で、昨年「太陽は、ぼくの瞳」のタイトルで劇場公開された傑作。

Pather Panchali

大地のうた



日本語字幕付き

監督：サタジット・レイ
出演：シュビル・パナルジー
19[日] 15:00
23[木] 14:00
1955年/35ミリ/モノクロ/123分/インド

インド、ベンガル地方の小さな村に住む家族の物語が、オペラという少年の目を通して瑞々しく叙情的に表現される傑作。インド映画の巨匠サタジット・レイのデビュー作で、56年カンヌ映画祭でベスト・ヒューマン・ドキュメント賞を受賞。

特別企画

アジアフォーカス・福岡映画祭2001 プレイベント

アジアフォーカス・福岡映画祭2001のプレイベントとして、話題の作品を無料上映。

日 時：26日(日)13:30～

観覧料：無 料(要整理券)

※整理券は当日11時から、映像ホール・シネラにて配布します。

※開場は上映の30分前

主催：アジアフォーカス・福岡映画祭実行委員会、福岡市総合図書館

上映作品

「山の蒼い影」

2000年/ビデオ/カラー/80分/モンゴル
監督：B・バダルオーガン 日本語字幕付き

物語はヤンジマーの回想から始まる。若かりし頃の彼女は、農地開拓のためにトラクターの運転手になろうと、好きな男性への想いを断って開拓の現場へ向かった。ところが現場の責任者は集まった若者たちを統率することができず、開拓地はたちまち混乱状態におちいってしまう。それを見かねた青年ガンバトは皆を組織し労働意欲をかき立ててみせるのだが、ガンバトのやり方はエスカレートしていき、責任者たちを逮捕して彼らの独立国を作るといふ想定で独自の訓練を行い始めた。それを見たヤンジマーはガンバトの行過ぎに歯止めをかけようとするが…。

「新文字先生」

1998年/ビデオ/カラー/109分/モンゴル
監督：B・バダルオーガン 日本語・英語字幕付き

50年代のモンゴル。夏休みで町の学校から故郷の村に戻ってきたトルガーは、村長から村の文盲の人たちにキリル文字を教えるように頼まれる。自分の母親を含めて、小さな子供やお年寄りまで、なかなか言うことを聞かない生徒たちを相手に、トルガーは一生懸命授業をする。

※本企画は2本立て上映です。上映は13時30分より「山の蒼い影」、20分休憩後引き続き「新文字先生」を上映します。

2日(木)13:00 7日(火)16:00 12日(日)17:00



ゴジラ

謎の海難事件が相次ぐなか、巨大な生物が大島を蹂躞。そしてついに怪獣が島を訪れた調査団の目の前に現れる。怪物は絶滅したジュラ期の生物と断定、「ゴジラ」と呼ばれた。日本に怪獣映画ブームを誕生させ、ハリウッドにまで影響を与えたゴジラシリーズの第一作。

監督：本多猪四郎
特殊技術：円谷英二、他
出演：志村喬、宝田明、河内桃子

1954年／35ミリ／モノクロ／97分／東宝

3日(金)13:00 9日(木)16:00 11日(土)11:00



三大怪獣 地球最大の決戦

黒部峡谷に大隕石が飛来。その後金星と名乗る予言者が地球の滅亡を警告する。それに応えるかのように阿蘇山からラドン、太平洋からゴジラ、隕石からキングゴジラが出現する。モスラはゴジラとラドンに地球のために力を合わせようと呼びかけるが拒否される。地球の運命は、

監督：本多猪四郎
特技監督：円谷英二
出演：夏木陽介、星由里子

1964年／35ミリ／カラー／93分／東宝

7日(火)13:00 9日(木)19:00



大魔神

戦国時代。丹波城下、花房領内で家老大館左馬之助を首謀者とする謀反が起きる。十年後、殺された城主の遺児の忠実と小僧は、元家臣の小源汰と伝説の魔神アラカツマが封印されている魔神の山へと向かう。大映の特撮スター「大魔神」シリーズの原点である第一作。

監督：安田公義
特撮監督：黒田義之
出演：高田美和、青山良彦

1966年／35ミリ／カラー／84分／大映京都

3日(金)16:00 5日(日)15:30 8日(水)19:00



ゴジラ vs スペースゴジラ

宇宙からスペースゴジラが飛来。スペースゴジラはゴジラに圧勝し、ベビーゴジラを奪ってしまう。物語はスペースゴジラ、ゴジラ、対ゴジラロボット兵器メガラ、対メガラロボット兵器メゴラの福岡タワーでの三つ巴戦へと発展。コンピュータグラフィックスによるフェアリーモスラも登場する。

監督：山下賢章
特技監督：川北紘一
出演：橋爪 淳、小高恵美

1994年／35ミリ／カラー／108分／東宝

3日(金)19:00 5日(日)11:00 10日(金)16:00



ガメラ 大怪獣空中決戦

太平洋上に出現した巨大な環礁はガメラと判明。一方、姫神に出現した巨大鳥ギャオスの福岡での捕獲作戦が行われるが、ガメラの襲撃にあう。ギャオスは古代文明を破壊し、ガメラはギャオスを倒すために生み出されたことが碑文から解読され、二大怪獣が再び対決する。

監督：金子修介
特技監督：樋口真嗣
出演：中山 忍、伊原剛志

1995年／35ミリ／カラー／95分／大映＝日本テレビ放送網＝博報堂

4日(土)14:00 9日(木)13:00



砂の惑星

フランク・ハーバートの大ベストセラー小説の映画化。惑星カラダンは、アレクシデス王家に支配されていた。カラダンに起こる王位継承戦争が目撃される。本作はリンチ監督の初のアメリカでのメジャー作品であり、最近アメリカでリメイク版がテレビ・ミニシリーズ化されている。

監督：デビッド・リンチ
特殊技術効果：キット・ウェスト
出演：カイル・マクラクラン、ステイニング

1984年／35ミリ／カラー／130分／アメリカ

2日(木)16:00 8日(水)13:00



空の大怪獣 ラドン

九州阿蘇村近の炭坑町に起こる連続惨殺事件の犯人は古代巨大ゴ、メガスロンであり、それを倒す翼竜ペトラドンが巨大変異して福岡の街を襲う。ゴジラに次ぐ東宝怪獣ラドンのデビュー作。当時の福岡、特に天神近辺がミニチュアセットでリアルに描かれている。

監督：本多猪四郎
特技監督：円谷英二
出演：佐原健二、白川由美

1956年／35ミリ／カラー／82分／東宝

2日(木)19:00 8日(水)16:00



モスラ

核実験場となったインファント島の調査団は、双子の妖精小美人を発見。興行師ネルソンは二人を日本で見世物にするために拉致する。それを追って島の守護神であるモスラが日本に上陸する。世界同時公開された初のカラーシネマ映画による怪獣映画。

監督：本多猪四郎
特技監督：円谷英二
出演：フランキー堺、ザ・ピーナッツ

1961年／35ミリ／カラー／101分／東宝

特 別 企 画

シネラでゴジラ

シーサイドももちフィルムフェスティバル「特撮ワールド」

福岡市総合図書館映像ホール・シネラ5周年記念として、日本とアメリカの特撮映像の世界を特集。特に日本の特撮映像のバイオニアである円谷英二の生誕100年を記念して、日米特撮映画の原点的な作品を中心に上映。

会 期：1日(水)～12日(日)

※休館日を除く

観覧料：800円(大人) ※前売700円
600円(大学生・高校生) ※前売500円
400円(中学生・小学生) ※前売300円
1,000円(親子券)
5,000円(一般フリーパス)

※定員制、各回入替制。

※前売り券はローンチケット(092-844-9999)で発売。

※福岡市在住の障害者の方、及び福岡市在住の65才以上の方は400円。(手帳の提示が必要です。)

主催：シーサイドももち映画祭実行委員会
福岡市総合図書館

子供から大人まで人気がある「特撮映画」。本特集は日本と主に米国の代表的特撮映画をシネラ開館5周年記念として紹介する。世界初の長編恐竜映画は「ロスト・ワールド(1925)」。シネラは同作の最新復元版を日本初公開する。今まで60分しかなかった映像が93分まで復元された。この名作と合わせて世界初のSF映画であるフランスの「月世界旅行」も上映される。他の米上映作品としては立体アニメの父であるウィリス・オブライエンが「ロスト・ワールド」の次に手がけ、亡き円谷英二を感動させた「キングコング」、同氏の弟子となったレイ・ハリーハウゼンの代表作「シンバッド 虎の目大冒険」など。日本の特撮も負けてはいない。「着ぐるみ怪獣」を世に誕生させ、怪獣ブームを普及させた田中・本多・円谷の東宝チームからは劇場公開時に世界に恐怖を与えた「ゴジラ」(1954)、「モスラ」、「三大怪獣・地球最大の決戦」。福岡を舞台にする「空の大怪獣ラドン」、「ゴジラVSスペースゴジラ」、「ガメラ/大怪獣空中決戦」、また戦国時代に苦しむ民の味方に立つ「大魔神」などが上映される。尚ミニシアターでも7月20日から月末まで「SF特集」をする。本特集では是非猛暑を吹き飛ばしてもらいたい。

1日(水)13:00 4日(土)17:00 12日(日)11:00



月世界旅行 《サイレント》

科学者は砲弾型の宇宙船で月へとかけ、到着すると月人に王宮へ連行される。地球人たちはそこで王を放り投げるなど大騒ぎをし、月を脱出せざるをえなくなる。ジュール・ヴェルヌの原作で様々なトリックを考案した世界初の本格的SF映画として歴史に残る名作である。

監督・出演：
ジョルジュ・メリエス

1902年／16ミリ／モノクロ／8分／フランス



ロスト・ワールド 《サイレント》

恐竜の生存を信じる教授は隊を組んでアマゾン奥地の「失われた世界」へと探検する。そこで恐竜を捕獲し、ロンドンへ戻るが恐竜は檻を破って市内へ逃げだしてしまう。コナン・ドイルの「失われた世界」の映画化。これは世界初の長編恐竜映画であり、93分の最新復元版である。

監督：ハリー・O・ホイト
技術監督：ウィリス・H・オブライエン
出演：ベッシー・ラヴ、ロイド・ヒュース

1925年／DVD(最新復元版)／モノクロ／93分／アメリカ

1日(水)16:00 7日(火)19:00 11日(土)14:00



キング・コング

冒険家の一行はドクロ島へ到着。守神である「コング」の存在を知り、恐竜に襲われながらもコングを捕獲。コングはNYで見世物となるが、檻を破り、美女を片手にエンパイア・ステートビルを登り始める。円谷英二を感動させ、70年代にリメイク版も作られた不朽の名作。

監督：メリアン・C・クーパー、ア・ネスト・B・シュドサック
特殊技術：ウィリス・H・オブライエン
出演：フェイ・レイ、ロバート・アームストロング

1933年／16ミリ／モノクロ／100分／アメリカ

1日(水)19:00 10日(金)13:00 11日(土)17:00



シンバッド 虎の目大冒険

ヒビになってしまったカムシ王子の魔法を解くために、船長のシンバッドは北極のピラミッド聖堂へと向かうが、これを魔法使のゼノビアが阻止しようとする。レイ・ハリーハウゼンがモデル・アニメーションを通して描くシンバッドシリーズの第三作。

監督：サム・ワナメーカ
特殊効果：レイ・ハリーハウゼン
出演：パトリック・ウェイン、タリン・パワー

1977年／16ミリ／カラー／112分／アメリカ

4日(土)11:00 10日(金)19:00 12日(日)14:00



ブレードランナー

21世紀。惑星での戦争と開発に備え、人間そっくりの人造人間が大量生産されるが、情緒不安定なため地球での使用は禁止されていた。だが、超高度人造人間4人が地球に侵入。その4人を人間と識別し抹殺する使命を特別警察官ブレードランナーが受ける。

監督：リドリー・スコット
特殊視覚効果監修：ダグラス・トランブル、他
出演：ハリソン・フォード、ダリル・ハンナ

1982年／16ミリ／カラー／115分／アメリカ

特撮 TOKUSATSU



書館映像調査員の山下です。特撮映画スーパー
リクの僕が「特撮映画製作のウラ側」をお伝えし
ようと思います。例えば手元にゴリラの人形一体
とムービーカメラがあるとした。思いつく限りの技術を
駆使して、キングコングがビルのでっぺんで戦闘機と格闘
するというシーンを撮らねばならないとすると、どうしま
すか？今がもし1930年代とすればまず考えられる方法は、
ビルディングのミニチュアを用意し、人形を少し動かして
は1コマ撮影し、また動かしては撮影するという気の遠く
なるような作業を続けます。これはストップモーションと
いう技術です。背景はガラスに描いた絵をカメラの前に
セットして撮影します。もちろんフィルムが現像されるま
では人形の動きをチェックすることはできません。そして
無事現像が終わってラッシュをチェックすることになりま
した。おやおや動きがぎこちないこと。しかもコマによ
っては体毛が寝たり逆立ったりと不自然、戦闘機を吊るし
ている線が丸見えの状態。撮り直したくても時間と予算がな
いので無理。監督は泣く泣くOKを出さねばなりません。

気をとり直して時は1970年代になりました。またキン
グコングを撮るはめになったとすればどうしますか？前
回よりもっとスムーズで迫力のある映像を作るにはどう
すればいいのでしょうか。そうです、着ぐるみの人形しか
ありません。役者はゴリラの動きを完璧にマスターして
るので安心です。ミニチュアの精度も昔と比べるまでも
ありません。戦闘機は後で合成することになりました。ス
タートの合図で役者は演技を始めます。ゴリラの顔の微妙な
表情はラジコン制御で作ることができ、アップにも十分
耐えられるようになりました。しかし5ティク目あたり
から役者の体力が消耗しはじめ、ついにダウン。その日の
撮影はあえなく中止。ところで戦闘機の方はと申しますと、
別のスタジオで何やら青一色のスクリーンの前で棒の先
にしっかりと固定されています。派手な宙返りなどのアク
ロバット飛行をするというのですが、カメラが回っても戦
闘機はじっとしたままじやありませんか。しかしよく見る
と特殊なクレーンに取り付けられたカメラが自由自在に
戦闘機の周りをなめまわすように動いています。これはモ

ーション・コントロール・カメラといいまして、予めコンピ
ュータに動きをインプットさせておき、固定した被写体を撮影す
るというシステムなのです。それによってあたかも戦闘機が
アクロバット飛行をしているかのような映像を作り出すこと
ができる優れたものなのです。ここで撮影した戦闘機のフィ
ルムと着ぐるみキングコングのフィルムをオプチカルプリン
ターという機械で合成します。かなり複雑な行程を経てやっ
と特撮シーンが完成しました。出来上がりを見ることにしまし
よう。さすがに迫力のある映像になりました。でも気になる
箇所がまだあります。どうしても人が入って演技しているの
がバレしてしまうのです。気ぐるみのファスナーも見えますし、
体型もいまいち。戦闘機は動きは良いのですが、合成部分の
境目が気になります。

三度目の正直ということで2001年現在のテクノロジーで
問題のシーンを撮ることにしました。以前のような大きなセ
ットや着ぐるみの姿は見あたりません。存在するのは小さい
ビルのミニチュアとあやしいメカニズム丸出しのアーマ
チュアと呼ばれるロボットのようなゴリラ人形、そしてラッ
ップコンピュータが一台あるのみ。そしてまた1930年代に
逆戻りしたのか、少し人形を動かしては、今度はコンピュータ
に入力しているではありませんか。しかもカメラはどこにも
無いのです。黙々と作業は続けられ、ある程度入力が終わる
とパソコンモニターで人形の動きを確認することができます。
動きの修正を終えて、入力したデータはポストプロダクシ
ョンに送られます。コンピュータ上で作成(モデリング)された
キングコングのデータに送られてきた人形の動きのデータ
を加えることでコンピュータグラフィックによるキングコ
ングが動きだします。背景の建物も立体データとして作成し
てあるためにアングルの変更が自由自在です。そして戦闘機
の映像や煙などの情報を挿入してレンダリングという計算処理
を施せば、観たこともない迫力のシーンが完成します。この
CGI(コンピュータ・ジェネレーテッド・イメージ)によって表現
の幅は格段と広がり、今や映画はデスクトップ上で作れる
時代となったわけです。

時代が変われば同じシーンでもこれだけ製作のスタイル
は変わります。これからの特撮映画のスタイルはどう変わ
っていくでしょうか？50年後の予想などできませんが、そのこ
ろはCGなど見向きもされなくらいの新技术が発明されて
いるかもしれないということです。
P.S.映画「狼男アメリカン」の変身シーンは感動ものです。

映像調査員 山下良平

「シネラでゴジラ」関連企画のお知らせ

特別講演

川北紘一 特技監督来福！

日時：平成13年8月5日(日)14:00～15:20
※開場は開演の30分前。入場は有料制で、当日の「ゴ
ジラVSスペースゴジラ」の観覧料に含まれます。

かわきた こういち
<特技監督・東宝映像美術所属>

1942年、東京生まれ。62年、
東宝株式会社入社。円谷英
二に師事。72年、「ウルトラ
マンA」(TV、円谷プロ)で特
撮初演出。76年「大空のサ
ムライ」で劇映画デビュー。84年、SF大作「さよ
ならジュピター」で、無機質でメカニカルな特撮に
よりシャープな映像感覚を披露。89年「ゴジラVS
ビオランテ」で待望のゴジラ特撮を担当。続く「ゴ
ジラVSキングギドラ」(91年)で日本アカデミー賞
特殊技術賞受賞、さらに「ゴジラVSモスラ」(92年
)でアジア太平洋映画祭・特殊効果賞を受賞。円谷
特撮の後継者として映画界の期待を担っている。



展示企画

特撮ワールド(仮題)

「シネラでゴジラ」の会期中、ショーケースで上映企画に
関連したポスター、スチール、フィギュアなど数十点を展示
いたします。また、シネラロビーで新作ゴジラの着ぐるみを展示予
定です。多数のお客様のご来館をお待ちいたします。

会 期：8月1日(水)～12日(日)
会 場：福岡市総合図書館1階ショーケース&シネラロビー

次は新作「ゴジラ」だ！

怪獣の代表格と言えば、何とんでも「ゴジラ」。1954
年誕生以来、昨年の「ゴジラ×メカゴラス」まで47年間に
亘り24作が製作され、ハリウ
ッドにも進出した世界に冠
たる怪獣である。今回の特集でも、
映画史に残る第1作、キングギ
ドラが登場する第5作、百道浜
地区でバトルが繰り広げられ
る第21作の3作品を上映する。

さて、新しいゴジラプロジェ
クトが動いている。シネラで旧
作を堪能した後は、12月の新
作(劇場公開)をお楽しみに！



「ゴジラ モスラ キングギドラ 大怪獣総攻撃」
2001年12月15日全国東宝系公開

8月

上映スケジュール

1 水	13:00 冒険王旅行	16:00 キング・コング	19:00 シンドバッド虎の目大冒険
2 木	13:00 ゴジラ	16:00 空の大怪獣ラドン	19:00 モスラ
3 金	13:00 三大怪獣地球最大の決戦	16:00 ゴジラvsスペースゴジラ	19:00 ガメラ大怪獣空中決戦
4 土	11:00 ブレードランナー	14:00 砂の惑星	17:00 冒険王旅行
5 日	11:00 ガメラ大怪獣空中決戦	14:00 特別講演	15:30 ゴジラvsスペースゴジラ
6 月	休 館 日		
7 火	13:00 大魔神	16:00 ゴジラ	19:00 キング・コング
8 水	13:00 空の大怪獣ラドン	16:00 モスラ	19:00 ゴジラvsスペースゴジラ
9 木	13:00 砂の惑星	16:00 三大怪獣地球最大の決戦	19:00 大魔神
10 金	13:00 シンドバッド虎の目大冒険	16:00 ガメラ大怪獣空中決戦	19:00 ブレードランナー
11 土	11:00 三大怪獣地球最大の決戦	14:00 キング・コング	17:00 シンドバッド虎の目大冒険
12 日	11:00 冒険王旅行	14:00 ブレードランナー	17:00 ゴジラ
13 月	休 館 日		
14 火	休 映 日		
15 水	11:00 青空がはくの家	15:00 熱帯魚	
16 木	11:00 河は流れる	15:00 サロージャー	
17 金	11:00 としごろ	15:00 ささやき	
18 土	11:00 修学旅行	15:00 カラー・オブ・パラダイス	
19 日	11:00 サロージャー	15:00 大地のうた	
20 月	休 館 日		
21 火	休 映 日		
22 水	14:00 カラー・オブ・パラダイス	19:00 河は流れる	
23 木	14:00 大地のうた	19:00 としごろ	
24 金	14:00 修学旅行	19:00 青空がはくの家	
25 土	11:00 熱帯魚	15:00 ささやき	
26 日	13:30 アジアフォーカス・福岡映画祭2001プレイベント		
27 月	休 館 日		
28 火	休 映 日		
30 木	休 映 日		
31 金	月 末 休 館 日		



交通アクセス：当館の駐車場スペースに限りがありますので、
できるだけ公共交通機関をご利用ください。
地 下 鉄：西新駅または藤崎駅から徒歩15分
西鉄バス：天神～都市高速経由～福岡タワー南口
(所要時間 昼間で約20分)
博多駅～都市高速経由～福岡タワー南口
(所要時間 昼間で約25分)
福岡タワー南口バス停から徒歩3分
いずれも、昼間は10～15分間隔で運行されていますので大変便利です。
お近くのバス停からのご利用につきましては、西日本鉄道テレホンセン
ター(電話 733-3333)に直接お問い合わせください。

編集雑誌 今月は、開館5周年を記念して、特撮映画の特集上映が開催される。ゴジラを信
奉する当課のスタッフが開館当初から暖めていた特別企画である。折しもお向かいの博物館では「堀
りたて恐竜展」が開かれていて、「恐竜VS怪獣」の闘いが繰り広げられることになるが、セト的な
考えは捨てて、市民の皆さんが親子で楽しいひとときを過ごしていただけるよう博物館とのタイ
アップを考えよう。実は、ゴジラ企画の会期中に「ゴジラとももひつザウルス」がランデブーする予
定だ。写真撮影や握手会もできる。是非、シーサイドももちにお越しください。(H.I.)